

# Windows 10 IoT Enterprise をご使用の前に

C77901000

本書では、コンピューター購入時の作業、「Lockdown Setting Tool」の使用方法や Windows の再インストールについて記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

## 目次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 購入時の作業.....                           | 2  |
| 着荷後に電源を入れるときは（バッテリー搭載機種）.....         | 2  |
| Windows のセットアップ.....                  | 2  |
| Lockdown Setting Tool.....            | 3  |
| Lockdown Setting Tool を使用するための準備..... | 3  |
| Lockdown Setting Tool の機能.....        | 3  |
| 再生モードアカウントを作成する.....                  | 5  |
| カスタムウェブブラウザ.....                      | 5  |
| オプションへの追加登録.....                      | 7  |
| 再インストール（PC を初期状態に戻す）.....             | 8  |
| 個人用ファイルを保持して再インストール.....              | 9  |
| すべてを削除して再インストール.....                  | 9  |
| USB フラッシュメモリから再インストール.....            | 11 |

## 購入時の作業

購入時の作業について説明します。

### 着荷後に電源を入れるときは（バッテリー搭載機種）

バッテリー搭載機種の場合、本機は、輸送中に電源が入ることを防ぐため、輸送・保管モードに設定されています。次の手順で、輸送・保管モードの設定を解除してご使用ください。

- 1** 本機に AC アダプターを接続します。
- 2** 電源スイッチを押して本機の電源を入れます。  
これで輸送・保管モードが解除されます。

### Windows のセットアップ

購入時、はじめて本機の電源を入れると Windows のセットアップが開始されます。画面の指示に従って、セットアップを行ってください。

- ※ セットアップ中に表示される「ライセンス条項」は必ず内容を確認し、よく理解された上で承諾してください。
- ※ セットアップ中に作成するアカウントは管理者アカウントになります。

### Windows のアカウントについて

本書では Windows のアカウントについて次のように記載しています。

| アカウント名         | 種類  | 説明  |
|----------------|-----|---|
| セットアップ中に設定した名前 | 管理者 | 購入時、Windows のセットアップ中に作成したアカウントです。「Lockdown Setting Tool」の設定や「再生モード」アカウントの作成、再インストールなどは管理者アカウントで行います。👉 p.8 「再インストール」 |
| 再生モード          | 標準  | カスタムウェブブラウザによるコンテンツ再生など、「Lockdown Setting Tool」の「Windows 起動時の設定」を有効にする場合は、再生モードアカウントを作成します。👉 p.5 「再生モードアカウントを作成する」  |

# Lockdown Setting Tool

本機には、ドライブの保護やデジタルサイネージ設定のためのツール「Lockdown Setting Tool」が搭載されています。ここでは「Lockdown Setting Tool」の使用方法について説明します。

## Lockdown Setting Tool を使用するための準備

「Lockdown Setting Tool」を使用するには、ドライブの保護設定機能「Unified Write Filter」を有効にする必要があります。使用前に作業を行ってください。

- 1 デスクトップの「UnifiedWriteFilter 設定」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「管理者として実行」を選択します。



- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい] をクリックします。  
Windows が自動的に再起動します。これで設定は完了です。

## Lockdown Setting Tool の機能

「Lockdown Setting Tool」は、デスクトップのアイコンから起動します。



Lockdown Setting Tool には次の項目があります。

※機能を有効にすると、ボタン表示が明るくなります。設定後、[適用] をクリックしてください。



## <ディスクの保護>

「Unified Write Filter」によるドライブの保護設定をします。保護設定を行ったドライブに対しては、設定変更やデータの書き込みなどができなくなります(変更しても再起動すると元に戻ります)。

※保護設定できるのは内蔵 HDD のみです。外付けの USB HDD などは保護設定できません。

※C ドライブの保護が有効になっていると、設定変更はできません。ツールの他項目の設定を行う場合は、C ドライブの保護を一旦解除してください。

## < Windows 起動時の設定 >

Windows を起動したときの動作を設定できます。

設定は、「再生モード」アカウントでサインインしたときに有効になります。

設定を行う前に「再生モード」アカウントを作成してください。

 p.5 「再生モードアカウントを作成する」

設定できる動作は次の 3 つです。

### ● アプリケーションを自動実行しない

デスクトップを表示します。

### ● カスタムウェブブラウザ p.5

出荷時に設定されているコンテンツ(壁紙)を再生します。

再生するコンテンツは変更することができます。

 p.6 「再生するコンテンツを変更する」

### ● 独自に指定する

自分で指定したプログラムを実行します。

各項目について、「指定したアプリケーションの終了時の OS 動作」を設定します。

設定できる動作は次の 2 つです。

- ・アプリケーションを再起動
- ・Windows を終了する

## < オプション >

購入時は次のツールが登録されています。

### ● システム診断ツール

ハードウェアに不具合が発生しているかどうかを診断できます。

### ● 輸送・保管モード設定ツール(バッテリー搭載機種のみ)

バッテリー搭載機種の場合、本機を輸送・保管するときは、輸送中に電源が入ることを防ぐため、必ず輸送・保管モードに設定してください。

設定は AC アダプターを接続した状態で行ってください。設定後、AC アダプターを取り外すと、設定が完了します。

輸送・保管後に設定を解除する場合は、 p.2 「着荷後に電源を入れるときは」の手順で解除してください。

「オプション」項目には 7 つまでプログラムを登録することができます。

 p.7 「オプションへの追加登録」

## 再生モードアカウントを作成する

「Windows 起動時の設定」は、「再生モード」アカウントでサインインしたときに有効になります。設定を行う前に「再生モード」アカウントを作成してください。

アカウントの作成方法は次のとおりです。

- 1** [スタート] – [設定] – [アカウント] – [家族とその他のユーザー] – [その他のユーザーをこの PC に追加] を選択します。
- 2** 以降は画面の指示に従ってアカウントを作成してください。「ユーザー名」は必ず「再生モード」としてください。

## カスタムウェブブラウザ

カスタムウェブブラウザでは、「再生モード」アカウントでサインイン時、あらかじめ設定されているコンテンツ（壁紙）を再生します。

### コンテンツを再生する

カスタムウェブブラウザでコンテンツを再生するには、次の設定が必要です。

- 1** 「再生モード」アカウントを作成します。  
 p.5 「再生モードアカウントを作成する」
- 2** カスタムウェブブラウザを有効にします。
  - 1** 「Lockdown Setting Tool」を起動します。
  - 2** 「Lockdown Setting Tool」が起動したら、「Windows 起動時の設定」項目の [カスタムウェブブラウザ] をクリックして有効にします。  
機能を有効にすると、ボタン表示が明るくなります。
  - 3** コンテンツ再生を終了したときの動作を設定します。  
「指定したアプリケーションの終了時の OS 動作」を次の 2 つから選択します。
    - ・アプリケーションを再起動
    - ・Windows を終了する
  - 4** [適用] をクリックします。
  - 5** 「再起動しますがよろしいですか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。  
本機が再起動します。「再生モード」アカウントでサインインすると、コンテンツ（壁紙）再生が開始されます。

### コンテンツ再生を終了する

コンテンツ再生を終了する場合は、次のキー操作を行います。

Alt + F4

終了すると、「指定したアプリケーションの終了時の OS 動作」項目で設定された動作が実行されます。

## 再生するコンテンツを変更する

カスタムウェブブラウザで再生するコンテンツは変更することができます。  
(出荷時は壁紙再生が設定されています)

再生コンテンツの変更方法は次のとおりです。

### 1 次の設定ファイルを開きます。

C:¥EDC\_Signage¥CustomBrowser.ini

※ファイルを開くアプリの選択画面が表示された場合は、「メモ帳」を選択してください。

### 2 以下の設定ファイル書式に沿って、設定ファイルを編集します。

<設定ファイル書式>

[Default]

DisplayTime= デフォルト切り替え表示時間

[URLs]

URL 数字 = 表示時間, 表示したいコンテンツの URL

- ・ [URLs] の表示時間が設定されていない場合、[Default] の DisplayTime で設定した時間が表示されます。
- ・ [Default] の DisplayTime の指定がない場合、30 秒間表示されます。
- ・ コンテンツは、最大で 60 個まで指定可能です。

#### 記載例 ①

コンピューター内に「Sample.html」コンテンツを置いてそれを 20 秒間表示する

[URLs]

URL1=20,file:///C:¥ProgramData¥EPSONDIRECT¥HTML¥sample.html

#### 記載例 ②

Web 上の http://shop.epson.jp を 20 秒間、http://www.epson.jp を 40 秒間表示する。

[URLs]

URL1=20,http://shop.epson.jp/

URL2=40,http://www.epson.jp/

以降、「再生モード」アカウントでサインインすると、設定したコンテンツが再生されます。

## 再生モードで自動サインインできるようにする

本機の電源を入れると自動的にコンテンツ再生が開始するようになりたい場合は、「再生モード」アカウントでの自動サインイン設定を行います。  
設定方法は次のとおりです。

- 1** 画面左下の検索ボックスに「netplwiz」と入力し、 を押します。
- 2** 「ユーザーアカウント」画面が表示されたら、「再生モード」を選択し、「ユーザーがこのコンピューターを…」のチェックを外して [OK] をクリックします。
- 3** 「自動サインイン」画面が表示されたら、任意でパスワードを入力し、[OK] をクリックします。  
これで設定は完了です。再起動すると「再生モード」アカウントで自動サインインし、コンテンツ再生が始まります。

### <参考>

コンテンツ再生中にアカウントを切り替えたいときは、次のキー操作で表示されたメニューから行います。

 +  + 

## オプションへの追加登録

「オプション」項目には7つまでプログラムを登録することができます。  
登録方法は次のとおりです。

- 1** 次の設定ファイルをデスクトップにコピーします。  
C:\Program Files(x86)\EPSON DIRECT\EDC\_Signage\LockdownSetting.ini

- 2** 以下の設定ファイル書式に沿って、コピーした設定ファイルを編集します。

<設定ファイル書式>

[Default]

[Options]

Exe1=" 実行するアプリケーションパス "

Text1=" ボタンに表示する文字列 "

Img1=" ボタンに表示する画像ファイル "

- ・ 数字は 1 ~ 7 を登録することができます。
- ・ Text と Img は排他になるため、両方表示することはできません。



記載例

[Options]

Exe1="C:\Program Files (x86)\EPSON DIRECT\Support Portal\HWTTest\pci.exe"

Text1=" システム診断ツール "

Img1=

Exe2="C:\Program Files (x86)\EPSONDIRECT\Ship\_Mode\_x64\Shipping\_mode.bat"

Text2=" 輸送・保管モード設定ツール "

Img2=

Exe3="C:\Program Files (x86)\Internet Explorer\iexplore.exe"

Text3=

Img3="C:\Users\qwsf\Pictures\IE.jpg"

### 3 編集した設定ファイルを元の場所（下記）に上書きコピーします。

C:\Program Files(x86)\EPSON DIRECT\EDC\_Signage\LockdownSetting.ini

ファイルをコピーし、「ファイルの置換またはスキップ」と表示されたら、「ファイルを置き換える」を選択します。「このフォルダーへ移動するには管理者の権限が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

これで設定は完了です。「Lockdown Setting Tool」を起動して、項目が追加されているか確認してください。

## 再インストール（PCを初期状態に戻す）

本機にトラブルが発生したときに再インストールを行うと、トラブルが解決する場合があります。再インストール方法には、次の3つがあります。目的や状況に応じた方法を選択してください。

|  |  |
|--|--|
| 個人用ファイルを保持して再インストール<br> p.9     | <ul style="list-style-type: none"><li>・作成したアカウントは保持されます。</li><li>・個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）は保持されます。</li></ul>   |
| すべてを削除して再インストール<br> p.9         | <ul style="list-style-type: none"><li>・作成したアカウントは削除されます。</li><li>・個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）は削除されます。</li><li>・「個人用ファイルを保持して再インストール」で問題が改善しない場合に行います。</li></ul> |
| USB フラッシュメモリーから再インストール<br> p.11 | <ul style="list-style-type: none"><li>・作成したアカウントは削除されます。</li><li>・個人用ファイル（写真、音楽、ビデオなど）は削除されます。</li><li>・「すべてを削除して再インストール」ができない場合に行います。</li></ul>         |

※ いずれの方法を実施する場合でも、設定・データのバックアップを行うことを推奨します。

※ HDD/SSD の「リカバリー領域」は削除しないでください。「リカバリー領域」には本機を初期状態に戻すためのデータが設定されています。

## 個人用ファイルを保持して再インストール

Windows が正常に起動できないときや動作が不安定になった場合には、個人用ファイルを保持して再インストールします。個人用ファイルを保持して再インストールする方法は、次のとおりです。状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

### <Windows が起動できる場合>

Windows が起動できる場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

※管理者アカウントでサインインしてください。

- 1** 「スタート」－「設定」－「更新とセキュリティ」－「回復」をクリックし、「この PC を初期状態に戻す」の「開始する」をクリックします。
- 2** 「オプションを選んでください」と表示されたら、「個人用ファイルを保持する」をクリックします。
- 3** 「お使いのアプリは削除されます」と表示された場合は、「次へ」をクリックします。
- 4** 「この PC を初期状態に戻す準備ができました」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。

本機が再起動し、処理が開始されます。処理には約 1 時間かかります。処理中はキーボードやマウスを操作しないでください。処理が終了すると、デスクトップが表示されます。

### <Windows が起動できない場合>

Windows が起動できない場合は、HDD/SSD 内の Windows 回復環境（Windows RE）が自動的に起動します。Windows RE で再インストールを行ってください。

再インストールが完了したら、ツールの再設定やアプリのインストールを行ってください。

## すべてを削除して再インストール

次のような場合は、すべてを削除して Windows を再インストールします。

- ・「個人用ファイルを保持して再インストール」を行っても問題が改善しない場合
- ・インストールしたアプリや保存したデータをすべて削除して、初期状態に戻したい場合

すべてを削除して再インストールする方法は、次のとおりです。状況に応じて次のどちらかの方法で行ってください。

※ C ドライブの設定やデータは、再インストールを行うと消えてしまいます。可能な場合は、再インストールの前に、設定を書き写したり、バックアップを行ってください。



## <Windows が起動できる場合 >

Windows が起動できる場合は、次の手順で再インストールを行ってください。

※管理者アカウントでサインインしてください。

- 1** 「スタート」 - 「設定」 - 「更新とセキュリティ」 - 「回復」をクリックし、「この PC を初期状態に戻す」の【開始する】をクリックします。
- 2** 「オプションを選んでください」と表示されたら、【すべて削除する】をクリックします。
- 3** 「PC に複数のドライブがあります」と表示された場合は、「Windows がインストールされているドライブのみ」を選択します。
- 4** 「ドライブのクリーニングも実行しますか?」と表示されたら、【ファイルの削除のみ行う】をクリックします。
- 5** 「この PC を初期状態に戻す準備ができました」と表示されたら、【初期状態に戻す】をクリックします。  
本機が再起動し、処理が開始されます。処理には約 1 時間かかります。処理中はキーボードやマウスを操作しないでください。
- 6** 「こんにちは」と表示されたら、内容を確認して【次へ】をクリックします。
- 7** ライセンス条項が表示されたら、画面に表示された内容を確認し、【承諾する】をクリックします。
- 8** 無線 LAN 機能搭載時、「接続する」と表示された場合は、接続するネットワークを選択して【次へ】をクリックします。  
接続を行わない場合は、「この手順をスキップする」をクリックしてください。
- 9** 「すぐに使い始めることができます」と表示されたら、【簡単設定を使う】をクリックします。
- 10** 以降は画面表示に従って、アカウントの設定を行ってください。  
再インストールが終了すると、デスクトップが表示されます。

## <Windows が起動できない場合 >

Windows が起動できない場合は、HDD/SSD 内の Windows 回復環境 (Windows RE) が自動的に起動します。Windows RE で再インストールを行ってください。

再インストールが完了したら、ツールの再設定やアプリのインストールを行ってください。

## USB フラッシュメモリーから再インストール

「個人用ファイルを保持して再インストール」 / 「すべてを削除して再インストール」が実行できない場合は、本機に添付されているリカバリーメディア（USB フラッシュメモリー）から再インストールを行います。

- 1** USB フラッシュメモリーから起動します。
  - ① USB フラッシュメモリーを本機に接続します。
  - ② コンピューターを再起動し、すぐに次のいずれかのキーを「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。

F11 または Esc または F7

※ Boot デバイス選択画面を表示するキーは、機種により異なります。
  - ③ Boot デバイスを選択する画面が表示されたら、  で「UEFI : USB フラッシュメモリーの型番」を選択し、 を押します。
- 2** 「NetJapan リカバリーユーティリティ」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
- 3** リカバリー方法を選択する画面が表示されたら、方法を選択し、[次へ] をクリックします。

<Windows パーティションのサイズを指定して、リカバリーします。選択時>

  - ・「リカバリーサイズ指定」画面で C ドライブのサイズを指定して次へ進んでください。
  - ・最大値を指定しないでください。エラーになります。
  - ・データドライブはこのままでは使用できません。インストールが完了したら、ドライブ文字を割り当ててください。
- 4** 「リカバリー開始確認」と表示されたら、[リカバリー開始] をクリックします。
- 5** 「…続行しますか？」と表示されたら、[開始] をクリックします。

リカバリーが開始され、画面に経過状況と残り時間が表示されます。
- 6** 「復元が終わりました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

コンピューターが再起動します。
- 7** 「こんにちは」と表示されたら、内容を確認して [次へ] をクリックします。
- 8** ライセンス条項が表示されたら、画面に表示された内容を確認し、[承諾する] をクリックします。

※「ライセンス条項」は必ず内容を確認し、よく理解された上で承諾してください。



- 9** 無線 LAN 機能搭載時、「接続する」と表示された場合は、接続するネットワークを選択して [次へ] をクリックします。  
接続を行わない場合は、「この手順をスキップする」をクリックしてください。
- 10** 「すぐに使い始めることができます」と表示されたら、[簡単設定を使う] をクリックします。
- 11** 以降は画面表示に従って、アカウントの設定を行ってください。
- 12** アカウントの設定が完了し、Windows のデスクトップが表示されたら、USB フラッシュメモリーを取り外します。  
これで再インストールは完了です。

再インストールが完了したら、ツールの再設定やアプリのインストールを行ってください。

## 商標について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。そのほかの社名、製品名は、一般にそれぞれの会社の商標または登録商標です。

16.06.27 (EP)